

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 5 月 14 日	
宮崎県知事 殿	
提出者	
住 所	東京都千代田区有楽町1丁目1番2号
氏 名	旭化成株式会社 代表取締役社長 工藤 幸四郎 セオラス製造部 部長 奥田 雅和
電話番号 0982-22-6297	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	旭化成株式会社 セオラス製造部
事業場の所在地	宮崎県延岡市水尻町304番地
計画期間	令和7年4月～令和8年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	その他の有機化学工場製品製造所
事業の規模	90億円
従業員数	111名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1. セオラス製造フローシート(廃棄物フロー) 別紙2. 廃棄物処理フロー

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙3. 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量		
	（これまでに実施した取組）		
別紙 4 の通り			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量		
	（今後実施する予定の取組）		
別紙 4 の通り			

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 各廃棄物分の分別管理
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 各廃棄物分の分別の継続管理

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙5の通り
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙5の通り
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

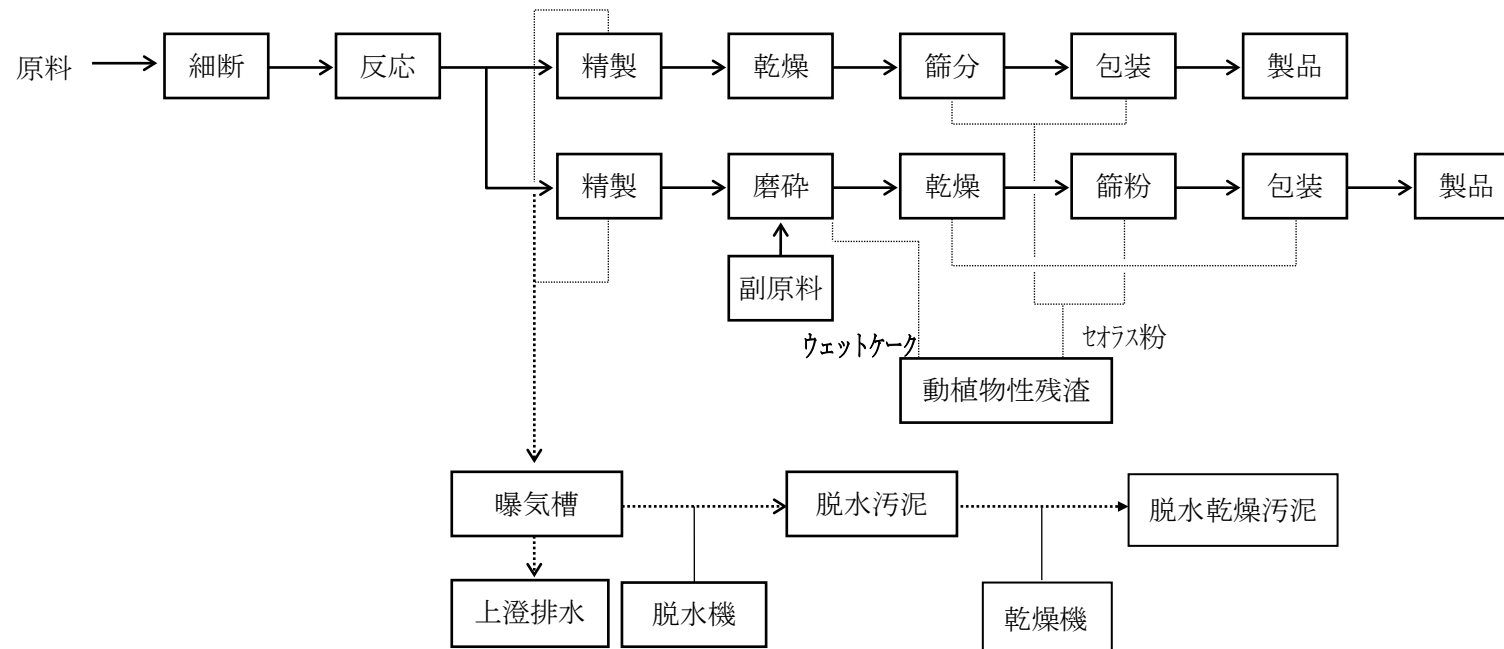
① 現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙5の通り
	再生利用業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
	t	
	(これまでに実施した取組)	

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙5の通り	
	優良認定処理業者への 処理委託量		
	再生利用業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		
	t		t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

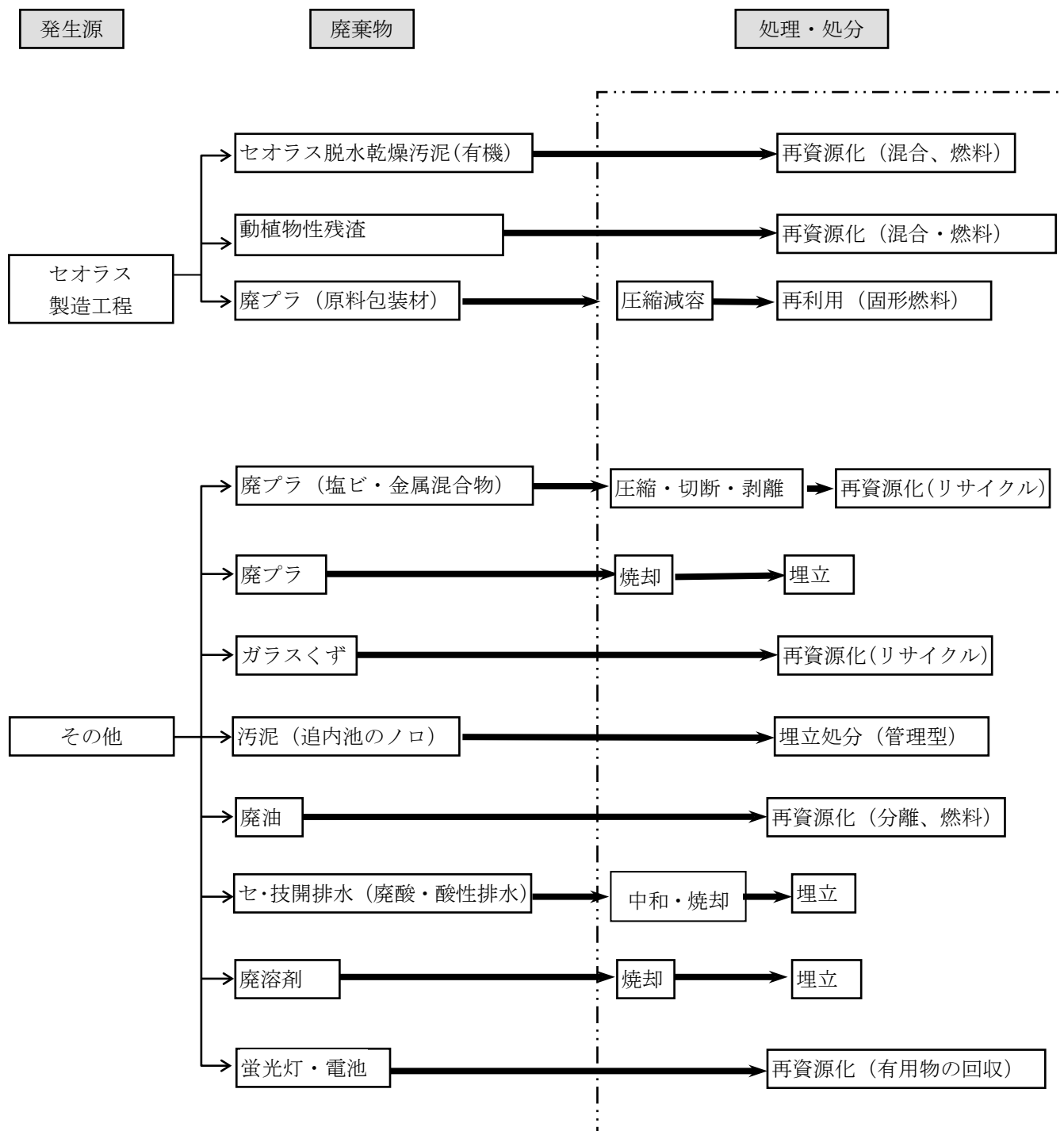
● 別紙1. セオラス製造フローシート（廃棄物フロー）



● 別紙2 廃棄物処理フロー

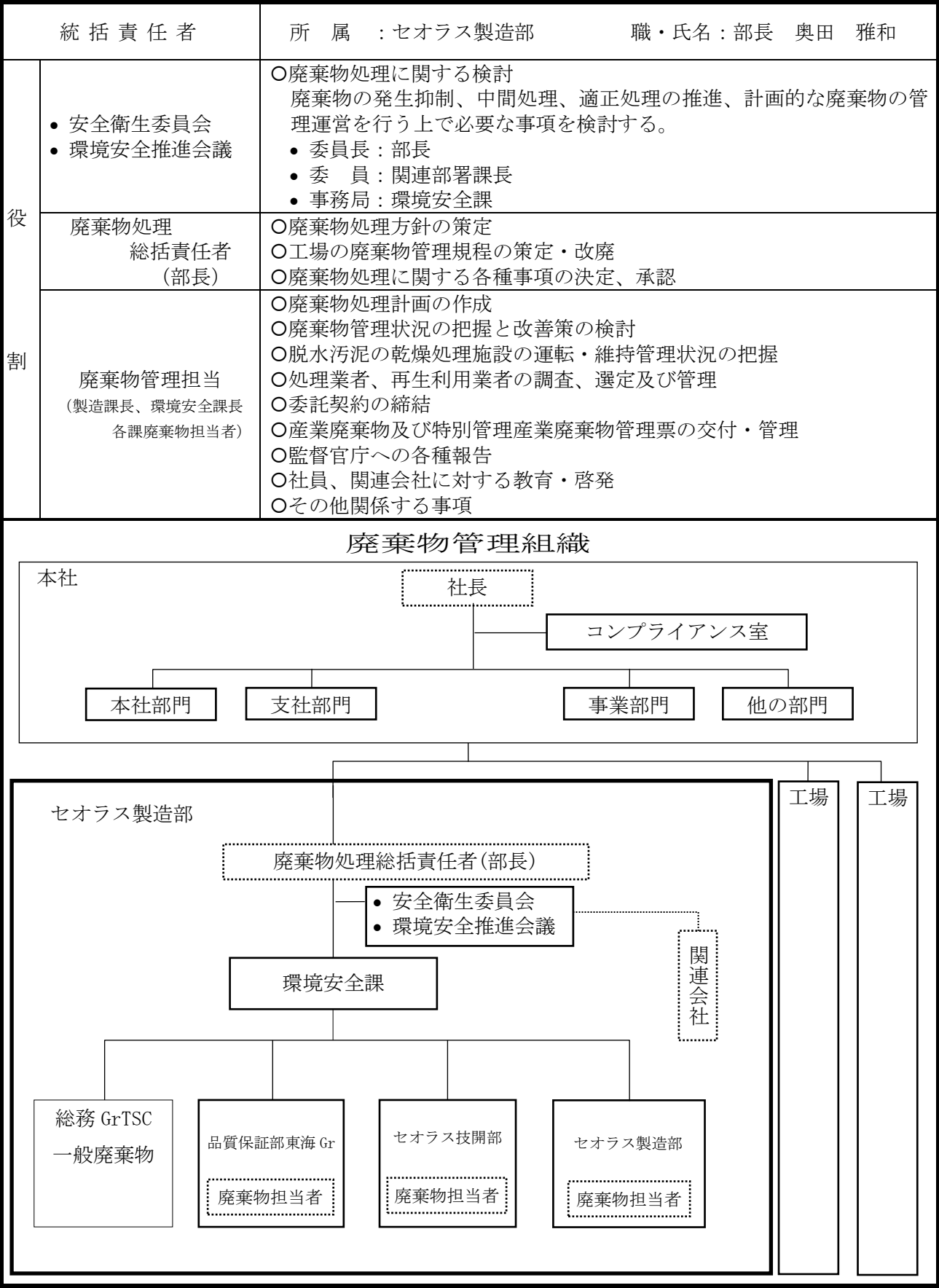
→ : 廃棄物処理の流れ

[] : 委託処理部分の範囲



別紙3. 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び管理組織図



	【前年度(令和6年度)実績】										
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃油	木くず	廃酸	廃プラ	ガラスくず	金属くず	乾電池	廃電池
	排出量(t)	585.720	458.730	1.993	0.140	176.460	102.919	0.473	1.143	0.000	0.000
	(これまでに実施した取組) 汚泥 : 曝気槽活性化対策 動植物性残渣 : 製品収率のup化										
①現状											
	【目標】										
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃油	木くず	廃酸	廃プラ	ガラスくず	金属くず	乾電池	廃電池
	排出量(t)	580.000	450.000	1.700	0.130	160.000	110.000	0.400	0.900	0.100	0
	(今後実施する予定の取組) 汚泥 : 汚泥水分値の最適化検討 : SS除去最適化の検討 : 曝気槽条件の最適化検討 動植物性残渣 : 生産計画の最適化検討										
②計画											

別紙5 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度)実績】(t)										
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃油	木くず	廃酸	廃プラ	ガラスくず	金属くず	乾電池	廃電池
	全処理委託量	585.720	458.730	1.993	0.140	176.460	102.919	0.473	1.143	0.000	0.000
	優良処理業者への 処理委託量	583.300	391.820	0	0	0	0	0.000	0	0.000	0.000
	再生利用業者への 処理委託量	2.39	66.190	1.993	0.140	176.460	102.919	0.473	1.143	0	0
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(これまでに実施した取組) ・埋立処理の汚泥・廃プラを分別(リサイクル又はサーマルリサイクルの処理)										
②計画	【目標】(t)										
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃油	木くず	廃酸	廃プラ	ガラスくず	金属くず	乾電池	廃電池
	全処理委託量	580.000	450.000	1.700	0.130	160.000	110.000	0.400	0.900	0.100	0
	優良処理業者への 処理委託量	580.000	430.000	0	0	0	0	0	0	0.100	0
	再生利用業者への 処理委託量	0	20.000	1.700	0.130	160.000	110.000	0.400	0.900	0	0
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(今後実施する予定の取組)										